

床 - 床 S X (A X) 6 6

下地仕上げ

1. 建物のクリアランスは、図1, 表1のように仕上げてください。それぞれの規定値よりも狭い場合には変形性能が確保できなくなる場合があります。
2. フレーム取付面の凹凸は極力避けて下さい。

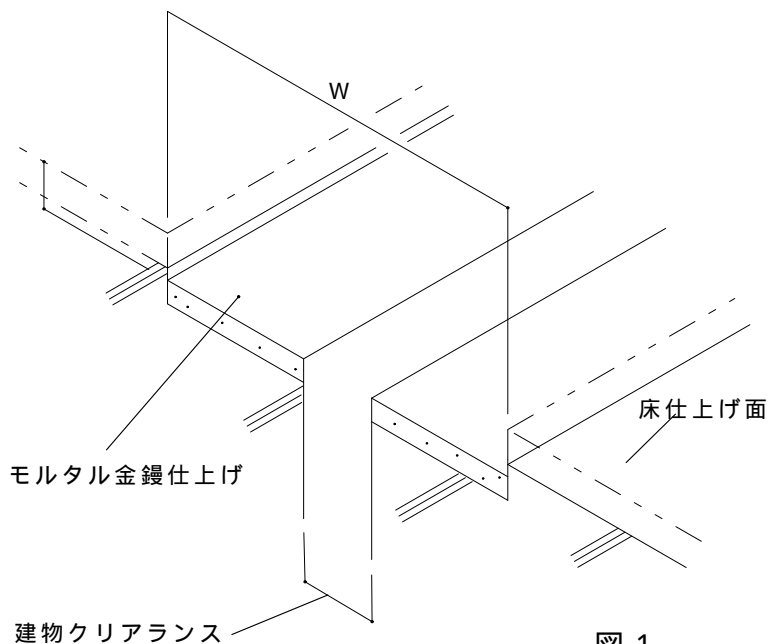


図 1

表 1 . W 寸法表

呼 称	W 寸法
SX66 - 50F	230
SX66 - 100F	380
SX(AX)66 - 50G	180
- 100G	280
- 150G	380
- 200G	480
- 300G	580

取付準備

製品は使用場所別に手配書の部番に合わせて梱包出荷されます。取付前に部品ユニットがすべて揃っていることを確認してください。

取付は次の順序で行ってください。

1. 墨打ち
EXP. J の芯より 1000 mm 逃げた位置に図 2 のように逃げ墨を打ちます。

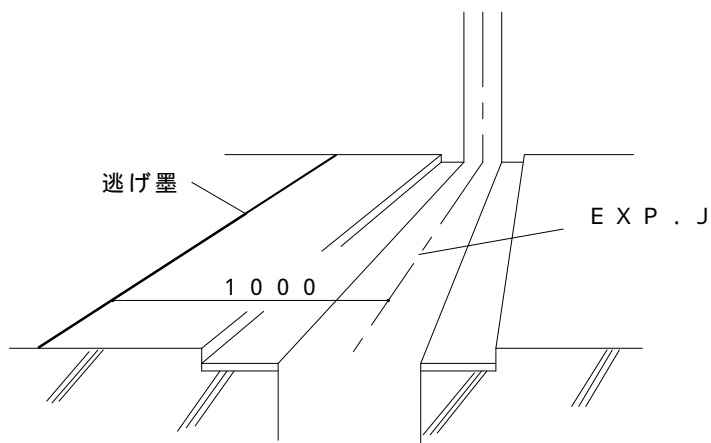


図 2

逃げ墨を基準にフレームを取付するためのレベル墨を打ちます。レベル墨の位置（A 1，A 2 寸法）は図 3 及び表 2 を参照して下さい。

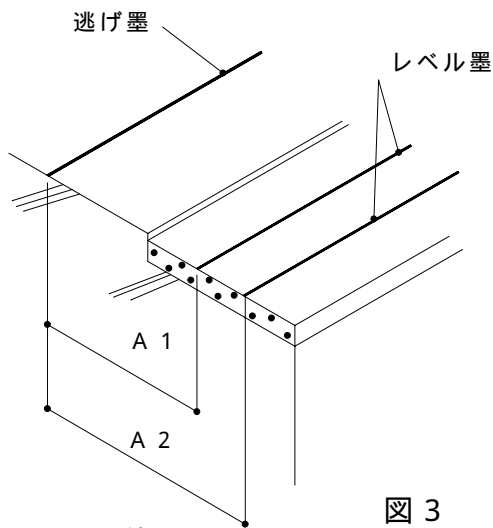


図 3

表 13 . A 1，A 2 寸法表

呼 称	A 1 寸法	A 2 寸法
SX66 - 50F	935	
SX66 - 100F	865	915
SX(AX)66 - 50G	950	
- 100G	910	
- 150G	895	
- 200G	855	870
SX66 - 300G	770	720

2 . フレームの取付

フレームにあげられた穴をレベル墨に合わせ 8、深さ 6 0 mm の下穴をあけます。付属のフッシャープラグを下穴に挿入し、固定ネジでフレームを固定します。（図 4）

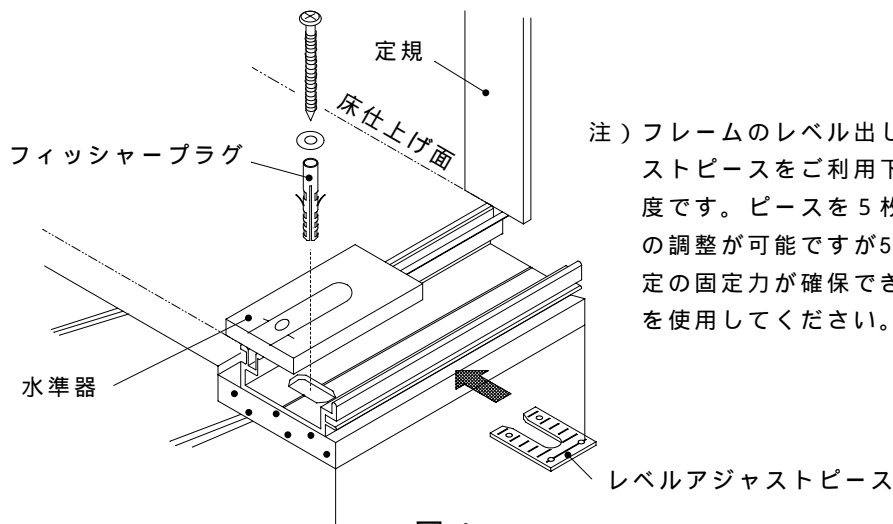


図 4

注) フレームのレベル出しには、付属のレベルアジャストピースをご利用下さい。調整範囲は 1 0 mm 程度です。ピースを 5 枚以上使用すると 1 0 mm 以上の調整が可能です。5.0×50 の固定ネジでは所定の固定力が確保できないため 5 0 mm 以上のネジを使用して下さい。

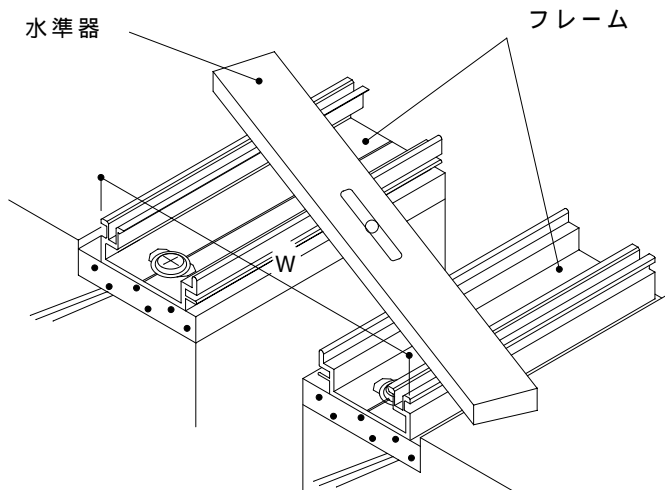


図 5

表 3 . W 寸法表

呼 称	W 寸法
SX66 - 50F	200
SX66 - 100F	350
SX(AX)66 - 50G	150
- 100G	250
- 150G	350
- 200G	450
SX66 - 300G	550

3 - 1 . 補助シートの取付

フレームのA部に補助シートを差し込みます。(図6)

注) 直線距離が長い場合、先に補助シートを垂らしてからA部に差し込むとよじれの原因となり、施工後外れてしまう場合があります。止水板はロールのまま上から順に左右対象に差し込んで下さい。

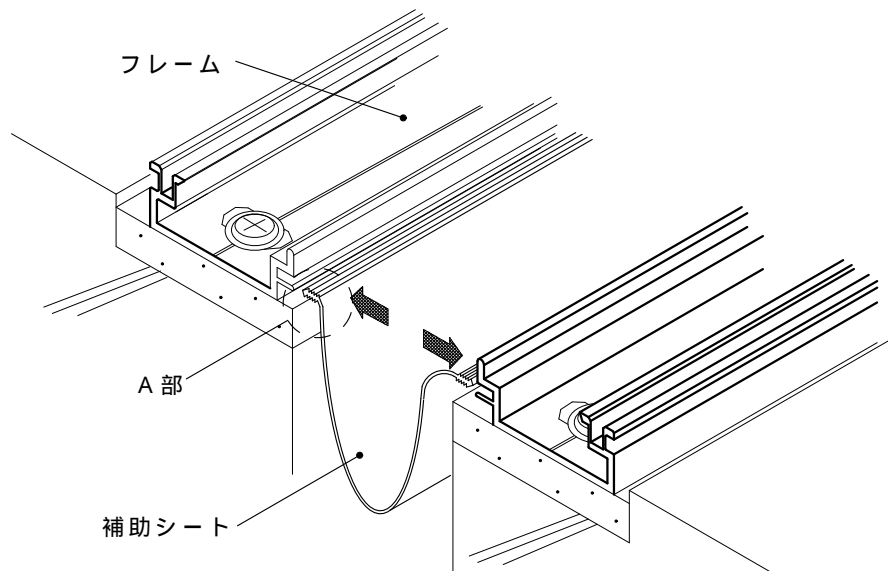


図 6

3 - 2 . 外廊下の場合補助シートの取付

補助シートをフレームの下にはさみ込み、フィッシャープラグと固定を用いてフレームを固定します。

注) フレーム固定後、固定ネジ頭部のコーキングを行います。(コーキング材は、別途です。)

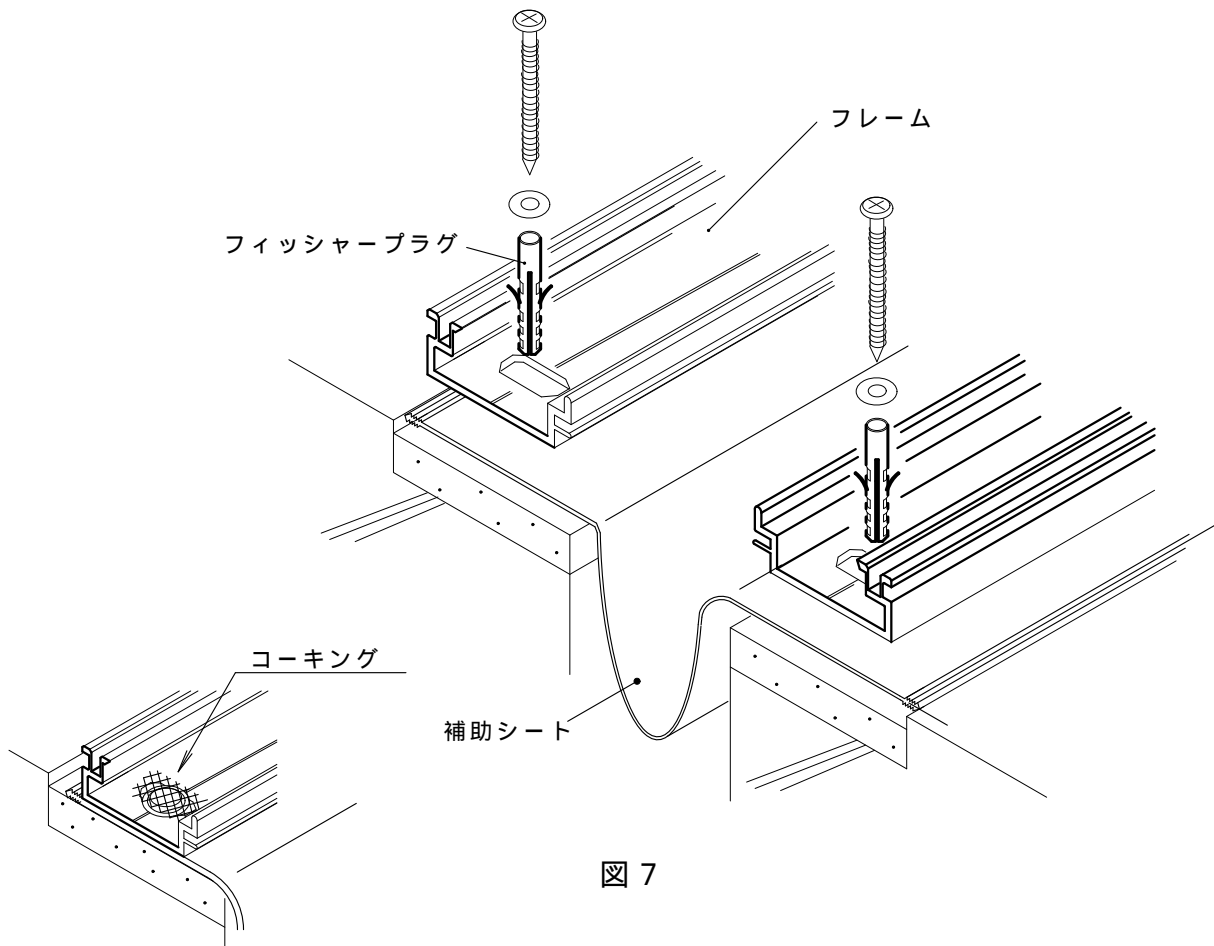


図 7

4 - 1 . カバーの取付

スライドプレートをフレームにのせ、カバーの穴に従い皿小ネジで固定します。(下穴不要)

注) 300Gタイプについては、カバー穴を基準にフレームに 3 . 6 の下穴をあけ、皿テクスビスで固定して下さい。

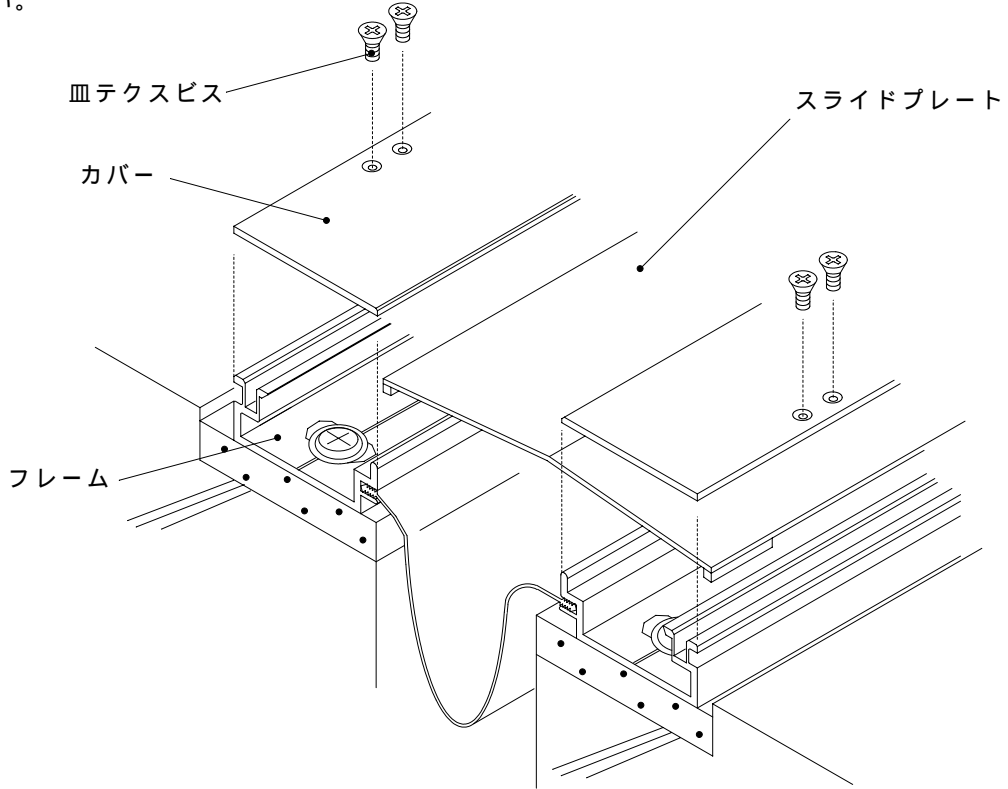


図 8

カバービス止め時の注意事項

カバーをビス止めするとき両端からビス止めしていくと真中(中央部)にしわあよせがきてしまうため図9に示すように端から順にビスどめを行います。

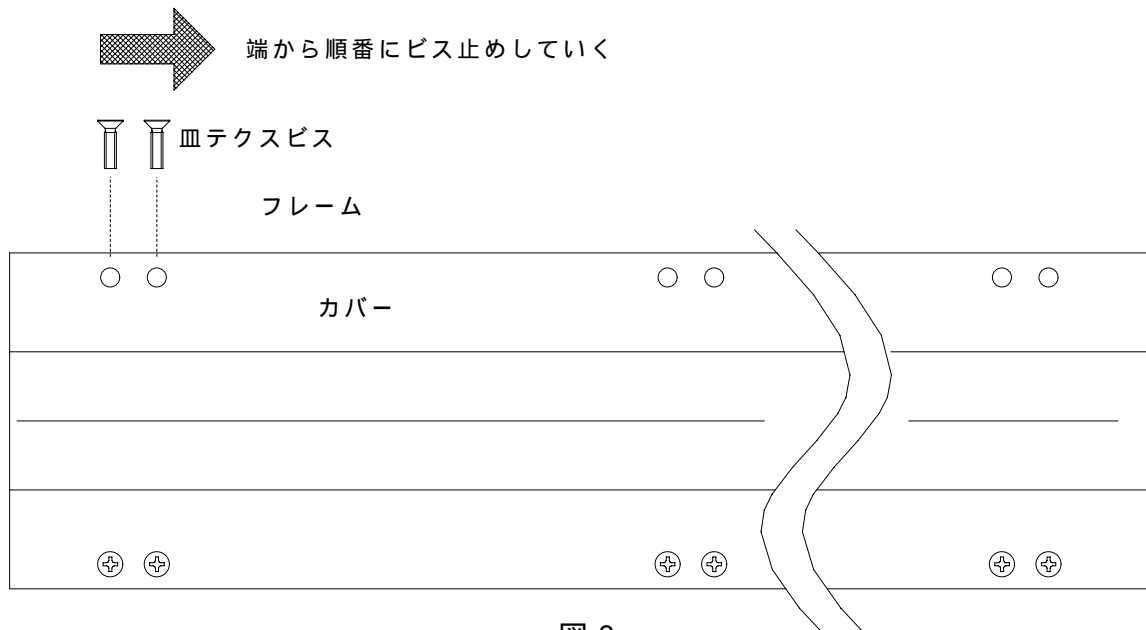


図 9

スライドプレート、カバーの取付（追加：ジョイントが発生する場合）

スライドプレートをフレームの上にのせます。スライドプレートのジョイント部分についてはジョイント金具とスピードナットでスライドプレートを固定してください。（S Xタイプのみ）次に、カバー穴に従い、カバーを皿小ネジで固定します。（※下穴不要）外部及び直射日光が当たり温度差が大きくなるような場所などに取り付ける場合、必ずカバーとカバーの隙間を3000mmに対して3mm確保してください。（図10）

※NS(凹凸クロスライン) はカバーの定尺が1500mmです。カバーとカバーの隙間を1500mmに対して1.5mm確保してください。

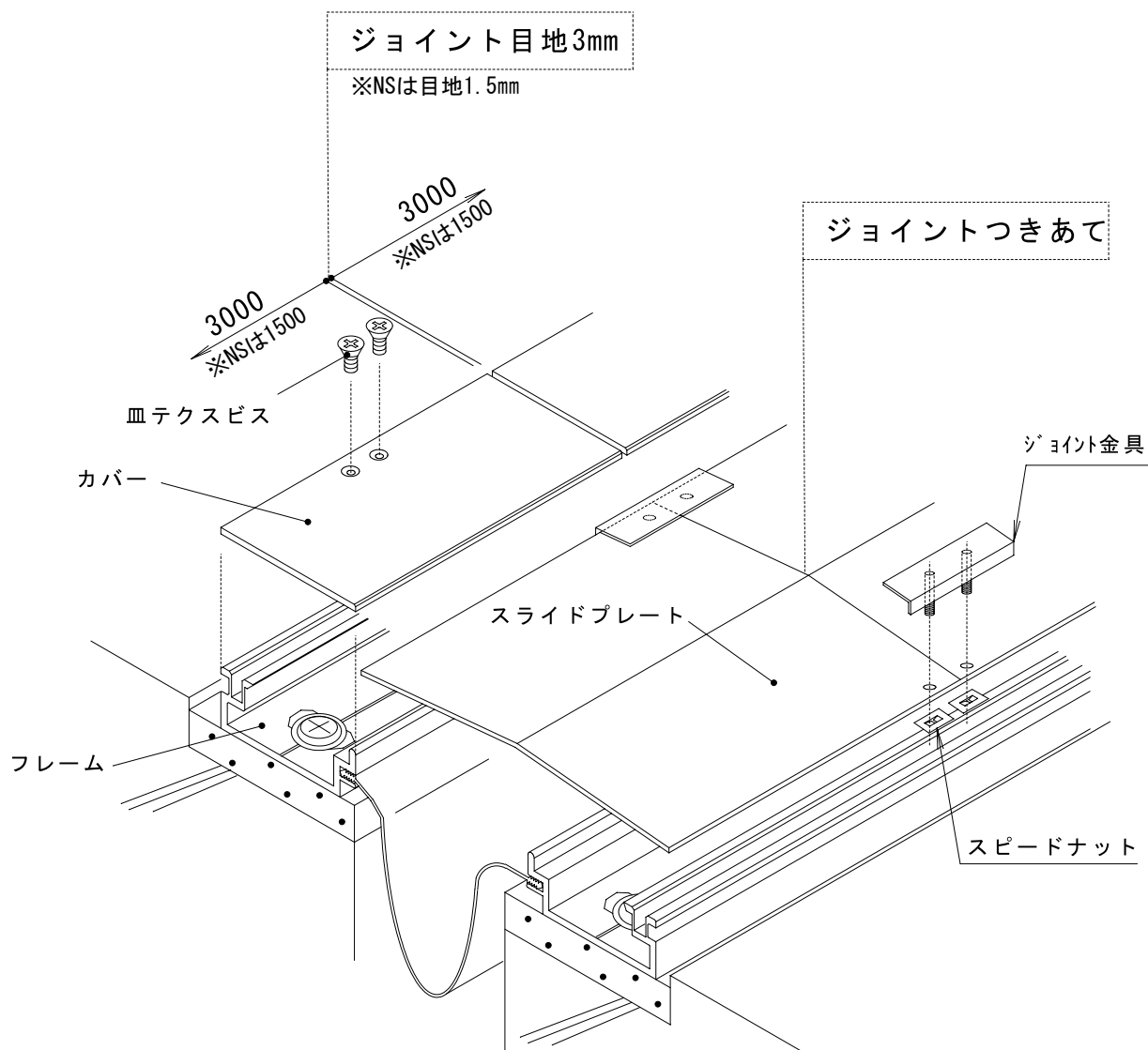


図10